社協のマークです

福祉の心を育てよう

社協 鵜二だより

第15号

1997年4月1日
（平成9年）

編集・発行
各務原市社会福祉協議会
鵜沼第二連合支部
編集委員会

（二年間）モデル支部終る

本番を継続　生かそう経験

〝社協〟鵜沼第二連合支部　支部長　平松幹正

私たちの社協鵜沼第二連合（川崎三ツ池・各務原町）支部は、みなさんのご理解といろいろご協力をいただき、モデル支部二年間の事業を展開してきました。この間ひとり暮らしのお年寄と支部役員を対象とした意識調査や、四回の講演会等を始めとする活動を推進し、一方では、支部社協会員を少なくとも市の平均値まで上げる目標をほぼ実現して、一応の成果を得ることができました。

◆講演会は話を聞くだけでなく、直後に考え話し合いました。

講演会は、テーマを「福祉のまちづくり」と「教育と福祉」に焦点を合わせて、計四回実施、このうち二回は、講演会の直後分散会と座談会を組み合せ、最後に全体集会でまとめるといった形で実施、馴れない面もありましたが、最後まで多くの参加もあり、一応成果を得ました。

◆「ひとり暮らしのお年寄等を囲む会」支部フェスタと位置づけました。

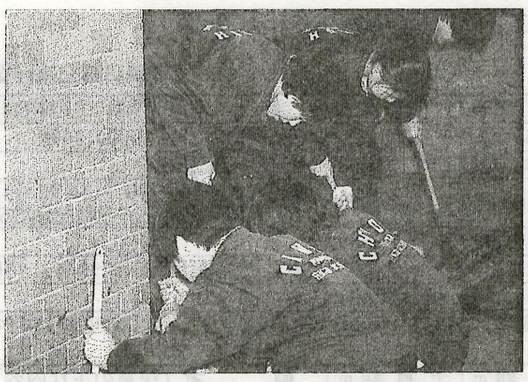
七年度一一五人、八年度一三三人参加したひとり暮らしお年寄、高齢夫婦（七〇歳以上）の世帯を囲む会は対象の方三八人に対して、支部役員を始め、幼児から小・中学生と保護者のみなさん、各務原東高校のブラスバンド、大正琴演奏など含め、支部で最も人気があり、喜こび楽しむ人が多いこの催しを、支部フェスタと位置づけて、みんなで三世代のふれあいを実現させました。

◆この他には、介護講演会、ひとり暮らし、障害（重度）のある人たちの友愛訪問、ふれあい映画会、（今回はベトちゃんドクちゃんからの手紙）などのメニュー事業も、例年通り実施してきました。

また市福祉フェスティバルでは、モデル四支部コーナー（テント内）を設置、活動パネルの展示を行いました。

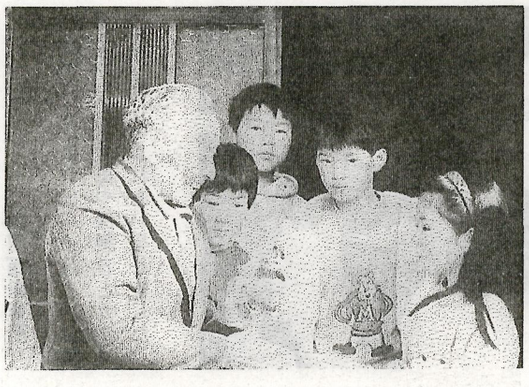
◆会員募集、市平均値並をほぼ達成。

諸活動の充実と共に、鵜二連合支部の会員を何とか市の平均値まで、到達させる。これは当支部の大きな課題でしたが、自治会長と班長そして民生委員など熱意をもって全戸を廻っていただき、ほぼ市平均八十四%に近づけました。「福祉のまちづくり」を本気で実現させるには、少くとも自治会加入者即社協会員が第一歩といえそうです。さて、モデル支部が終って、これからが本番です。



▶（中央中）地域ボランティア、三ツ池地下道清掃

▶（鵜二小）車椅子を市社協へ贈呈（アルミ缶回収利益で）



▶（中央小）高齢ご夫婦宅を訪問、花をプレゼント

平成8年度　社会福祉協議会　支部活動内容（鵜沼第二連合支部）

（年）月	活動内容
（8）4月	8日（月）事務局会議（計画・組織8人） 15日（月）事務局会議（計画）6人 20日（土）支部総会理事会（計画・予算）42人 23日（火）市支部長会議
5月	9日（木）事務局会議6人 15日（水）市支部長・推進員会議 25日（土）「福祉と教育」講演会 参加114人 講師：中央クリニック 長縄伸幸院長 意識調査結果を3分散会で話し合い
6月	8日（土）事務局会議　鵜二だより編集委員会 福祉作文募集（中央中・中央小・鵜二小） 13日（木）地域リーダー研修会　総合福祉会館
7月	15日（月）鵜二だより「14号」発行 16日（火）自治連合会長、支部長合同会議 25日（木）介護講習会、近隣ケア等50人 26日（金）映画、ベトちゃんドクちゃんの手紙
8月	・社協会員募集の月間 18日（日）中央・鵜二子供フェスティバル協賛 ・各町内盆おどり協賛
9月	8日（日）第15回福祉フェスタ鵜二モデル支部 活動パネル展示 18日（木）自治連合会長・支部長合同会議
10月	3日（木）事務局会議4人 ・中央・鵜二小校区市民運動会協賛 26日（土）ひとり暮らしのお年寄り等を囲む会 独居老人、高齢夫婦世帯38人 ・鵜沼西保育所園児12人歌のプレゼント ・中央中・鵜二小・中央小福祉作文 表彰と代表の朗読　計16人 ・大正琴演奏　各務原町9人 ・東高校吹奏楽団演奏　約16人 ・対象者の懇談と会食　総計133人参加
11月	16日（土）「'21福祉のまちづくり」講演と座談会 中部女子短大、飯尾助教授63人 事務局会議
12月	・鵜二だより「15号」編集委員会
（9）2月	5日（水）ねたきり20人、ひとり暮らし老人44人 障害（重度）3人の方　友愛訪問 24日（月）支部長・推進員会議
3月	10日（月）会計監査 14日（金）支部研修会（特養ホーム）美和の里 14日（金）理事会、支部総会 31日（月）鵜二だより「15号発行」

社協へ100%加入を

―あなたのネバリ強いご協力で―

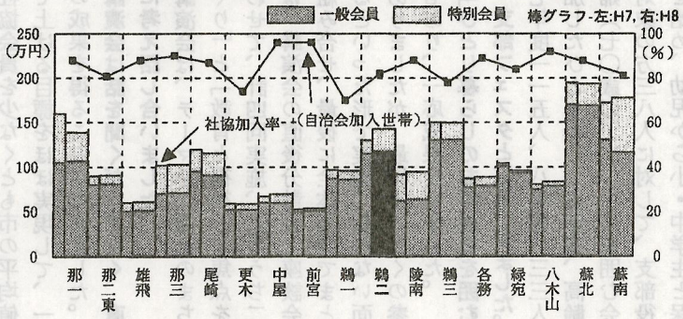
支部総会を三月十四日に開催、八年度活動の総括と決算について、万場の拍手で確認しました。

主な活動としては、支部福祉フェスタ（ひとり暮らしのお年寄等を囲む会）を柱とする、福祉の学習と交流でした。また重要課題は支部活動の財源ともなる、会員の増大であり、自治会加入の全員を社協に加入して頂くネバリ強い運動の展開です。

平成８年度　会員と会費の伸び
社協鵜沼第二連合支部の実績　（　）内は平成７年度

自治会加入世帯	3,130世帯	(3,056)
社協会員数	2,568：82%	(2,377：78%)
会費納入総額	1,414,000円	(1,259,000円)
支部への還付率	約79万円、63%（７年８年共）	
特別会員の比率	7.9%：市8.3%	(6%：市9%)
市社協会員の総数	32,477：84.3%	(32,361：84.9%)

平成８年度 社会福祉協議会17支部別会費と加入率実績表



福祉作文の表彰者　1996（平成８年）

吉田智里（ち さと）	鵜二小１年 三ツ池町３	ちょうちょとおはな
山形かよ	鵜二小２年 各務原町４	お手つだいをした
水谷菜摘（な つみ）	中央小１年 三ツ池町１	しごとをするよ
井村愛美	鵜二小３年 三ツ池町４	続・わたしはちいまま
榎本祐子	鵜二小３年 三ツ池町５	元気星が一番
石黒仁規	鵜二小４年 三ツ池町３	ゴミを見たらすぐゴミ箱へ
竹内美穂	中央小４年 川崎町３	私たちの大切な宝物
加藤大輝	中央小４年 三ツ池町１	ゴミステーション
船戸理江	鵜二小５年 各務原町４	みんなのために
中島麻衣	鵜二小６年 各務原町９	きれいな町に
津崎旭弘	中央小６年 川崎町３	ぼくの生活とゴミ
澤本陽子	中央中１年 各務原町４	緑と話す
棚瀬麻実子	中央中２年 三ツ池町６	思いやりの勇気
長瀬幸代	中央中３年 三ツ池町４	『やかた』とわたし

社会福祉協議会　鵜二連合支部・青少年育成推進委員会共催

〔社協鵜二〕平成８年度　会計決算書

（鵜沼第二連合支部）

収入の部

区分	決算額円	予算額円	備考（決算の主な内容）
支部交付金	565,000	505,000	支部会費　1,414,000×40%
モデル支部助成金	100,000	100,000	モデル事業助成
市社協助成金（メニュー事業助成金）	210,700	287,000	鵜二だより195,700（14・15号） ひとり暮らし老人を囲む会他15,000
繰越金	447,395	447,395	
雑収入	21,381	5,000	（寄付金）講師10,000 ボランティア10,000
計	1,344,476	1,344,395	

※備考／支部交付金は鵜二連合支部会費1,414,000円の約40%です。

支出の部

区分	決算額円	予算額円	備考（決算の主な内容）
1．事務費	20,621	20,000	コピー・フィルム代
2．共通実施事業	(246,523)	(231,000)	福祉講演、作文表彰
1）福祉教育	44,680	41,000	ひとり暮らし、ねたきり老人訪問等
2）友愛訪問	68,153	60,000	総会・事務局会議・研修会
3）支部育成	133,690	130,000	
3．メニュー事業	(384,457)	(466,000)	ひとり暮らしの老人等を囲む会
1）ふれあい	147,216	150,000	福祉・座談会・分散会
2）福祉関連	25,541	30,000	鵜二だより14・15号
3）支部だより	195,700	270,000	青少年育成補助・鵜二小・中央小
4）啓発	16,000	16,000	
4．その他の事業	(184,800)	(207,000)	クロッケー・盆おどり・市民運動会助成
1）保健体育	117,000	117,000	介護講習会（近隣ケア他）
2）生活環境	24,600	50,000	負担金（アニメ映画　ベトちゃんドクちゃん）
3）福祉映画会	30,900	30,000	各務原区コミセン使用料
4）雑費	12,300	10,000	
5．予備費(繰越金)	508,075	420,395	平成９年度への繰越金　508,075円
計	1,344,476	1,344,395	

三世代でカルタ会

（鵜沼西保育所）

鵜沼西保育所では、一月二〇日園児たちが、祖父母や保護者とカルタ会で、楽しいふれあいをしました。